



# なばり

2019年（令和元年）8月25日発行

主 内容

- 3……大規模災害協力員募集、年金通信
- 4～5……市立病院だより「きらり」
- 7……私立幼稚園、認定こども園募集
- 8……ひまわり

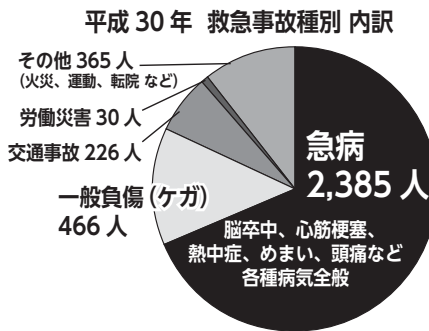
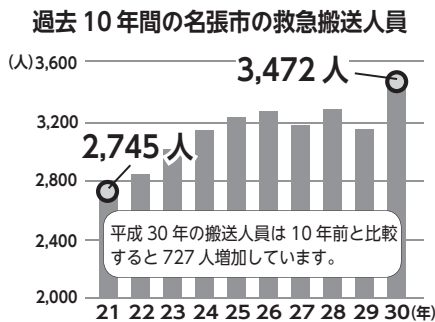
発行/名張市秘書広報室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 FAX 0595-64-2560 ✉pr@city.nabari.mie.jp



## 昨年、市内の救急搬送人員が過去最高を記録… 身近なケガや病気を未然に防ぐ 「予防救急」

近年、市内の救急搬送人員が増加傾向にあり、中でも65歳以上の高齢者の搬送人員が特に増えています。今号では、市の救急搬送の現状と、各家庭で少しの注意や心がけでケガや病気を未然に防ぐ「予防救急」の取り組みについて紹介します。

☎ 救急室 63・0997



### 突然のこんな症状のときは **すぐ119番!**

- ▼顔半分が動きにくい・しびれる
- ▼突然片方の腕や足に力が入らなくなる
- ▼冷や汗を伴うような強い吐き気
- ▼急な息切れ、呼吸困難 ▼けいれんが止まらない
- ▼突然の激しい胸痛や頭痛 など

### 慌てず落ち着いて、119番のポイント

① 通信員が火災か救急かを確認しますので、救急であることを伝えてください。

② 正確に住所や目印の建物を伝えてください。

③ 病人やけが人の数、症状、なぜそうなったかなどを、慌てず落ち着いて伝えてください。

◎救急車要請時に傷病者の容体が悪いと判断した場合、応急手当の指導を行うことがあります。

◎携帯電話から119番通報をするときはGPS機能をONにさせていただきようご協力をお願いします。

増加する救急搬送の中には防げたはずのケガも

平成30年の市内での救急搬送人員は3,472人で過去最高を記録しました。10年前と比較すると年間727人増えています。搬送された人の内2,280人が65歳以上の高齢者(全体の約65%)で今後、高齢化が進む中、さらに救急車の出勤頻度は高まるものと予想されます。

しかし、救急搬送した人の中には少し気を付けるだけで事故やケガを防げたケースもあります。高齢者の事故やケガなどの多くは家の中の段差でつまずいたり階段やベッドから落ちたりするなど、日常生活の中で発生しています。手すりや柵、滑り止めを設置するなど、ケガや事故を未然に防ぐ予防救急をぜひ、各家庭で取り組んでください。

そして、日頃から健康管理を心掛けることに加え、少しでも体の不調があれば早めに医療機関を受診しましょう。家から近い場所にある普段から何でも相談できるかかりつけ医をもつことも大切です。

普段と違うと思ったら **すぐ119番通報**を

日ごろから予防救急に取り組んでいても急病になってしまふことがあります。突然の激しい胸痛や頭痛、片方の腕や足に力が入らなくなる、けいれんが止まらないなど、場合によっては命に危険がせまり、重症になる場合があります。

突然襲ってくる身体の異変に気付いたときはすぐに119番通報をお願いします。また、高齢者は自覚症状が出にくい場合があります。家族の異変に気付いたときも、直ちに通報してください。

